

市ノ塚遺跡現地説明会を開催しました。

財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センターでは栃木県教育委員会の委託を受け、真岡市の市ノ塚遺跡の発掘調査を行いました。平成24年7月21日に行われた現地説明会では150名の参加がありました。



古墳時代～中世の集落跡が確認されました。写真は古墳時代の住居跡を解説しているところです。



出土した土器や鉄製品の説明をしているところです。参加者の熱気で解説にも力が入ります。

いちのづかいせき 市ノ塚遺跡

真岡市高田地内

現地説明会資料 平成 24 年 7 月 21 日 (土)

栃木県教育委員会事務局文化財課

宇都宮市埴田 1-1-20 TEL 028-623-3425

(財)とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター

下野市紫 474

TEL 0285-44-8441

1. はじめに

市ノ塚遺跡の発掘調査は、これまでに県営圃場整備事業に伴い平成 15 年度・16 年度に実施され、古墳時代の大規模な集落跡や古墳、中世の墓域などが見つかっています。今回の調査は、県道（主要地方道つくば真岡線高田工区）建設に伴い、平成 23・24 年度に実施しました。両年度ともに 4 ヶ月間の調査によって、多くの成果を挙げることができましたので、今回はこれらを皆様に広く公開します。

2. 調査の成果

(1) 平成 23 年度

縄文時代では、早期の^{おと}陥し穴 11 基、早期・前期の^{いぶつぼうがん}遺物包含層が発見されました。陥し穴の中から縄文早期の土器（^{てんやば}天矢場式）が出土し、その時期が明らかになりました。天矢場式は、東関東に広く分布し、約 10,000 年前のものです。古墳時代では前期から中期の^{めのお}竪穴住居跡 12 軒、^{ぞく}円形周溝遺構 1 基などが発見されました。瑇瑠製の^{なにいじ}勾玉や鉄鏃なども出土しました。中世では、幅 3 m 程の大溝が発見され、^{ほったてぼしら}内耳土器やかわらけなどが出土しました。

(2) 平成 24 年度

縄文時代では、陥し穴 4 基、早期などの遺物包含層が発見されました。古墳時代では、前期から後期まで各時期の^{がわぼしら}竪穴住居跡が 30 軒以上確認されました。遺跡の南端にある^{そうぼしら}前方後円墳と同じ時期（5 世紀末～6 世紀初め以前）の住居跡もあり、古墳に葬られた有力者と関連があったとみられます。古代では柱穴掘方の大きな^{ほったてぼしら}掘立柱建物跡が発見され、^{がわぼしら}側柱建物・^{そうぼしら}総柱建物もあります。芳賀郡内でも同じような遺跡が発見されています。地域の有力者の集落と考えられます。

中世では、掘立柱建物跡 9 棟、井戸 8 基などが発見されました。建物跡は昨年度調査した大溝の一部と棟の方向を同じくしており、建物跡と大溝は近い時期のものと判断されます。^{せんじゆじ}専修寺の寺内にある集落と考えられます。



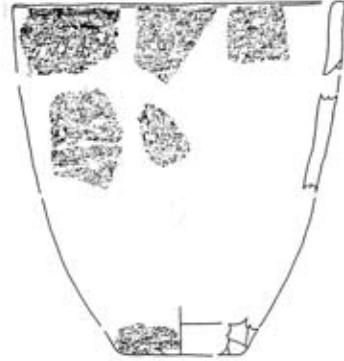
市ノ塚遺跡全景－平成 23 年度調査分－（北から）



市ノ塚遺跡全景－平成 23 年度調査分－（北西から）

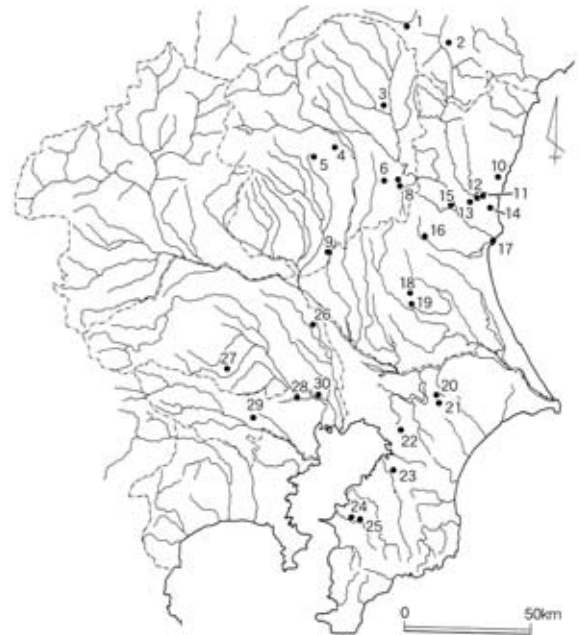


東京都武蔵台遺跡

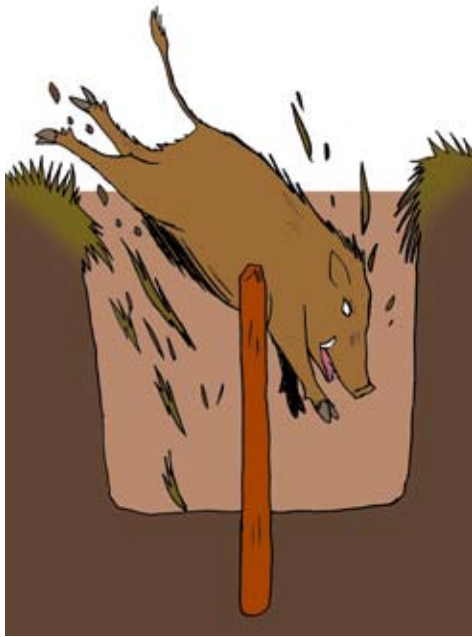


埼玉県前原遺跡 (S = 1/6)

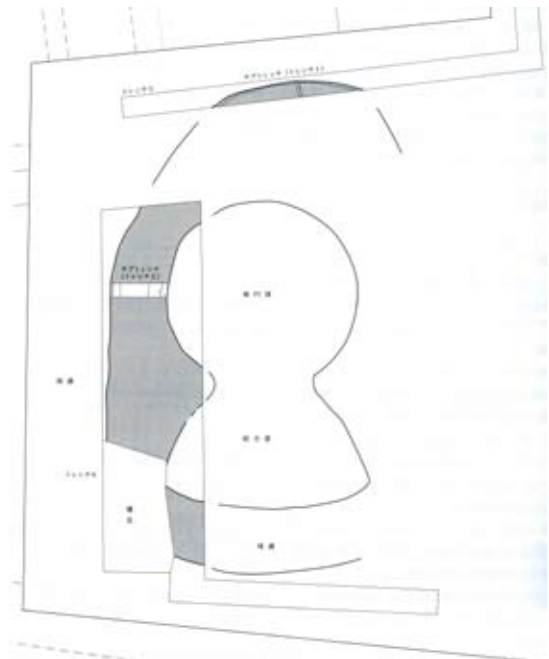
- | | | |
|-----------------|-----------------|---------------|
| 1. 福島県 一里段 A 遺跡 | 11. 茨城県 西橋遺跡 | 21. 千葉県 上宿遺跡 |
| 2. " 中丸遺跡 | 12. " 額田大宮遺跡 | 22. " 上野遺跡 |
| 3. 栃木県 品川台遺跡 | 13. " 山王原遺跡 | 23. " 土宇遺跡 |
| 4. " 大志白遺跡 | 14. " 石橋向遺跡 | 24. " 苗見作遺跡 |
| 5. " 山崎北遺跡 | 15. " 十万原遺跡 | 25. " 台木 B 遺跡 |
| 6. " 天王入遺跡 | 16. " 五平遺跡 | 26. 埼玉県 前原遺跡 |
| 7. " 堀込遺跡 | 17. " 祝町遺跡 | 27. " 向山遺跡 |
| 8. " 天矢場遺跡 | 18. " 原田北遺跡 | 28. 東京都 尾崎遺跡 |
| 9. " 西裏遺跡 | 19. " ゴリン山遺跡 | 29. " 武蔵台遺跡 |
| 10. 茨城県 大沼遺跡 | 20. 千葉県 取香和田戸遺跡 | 30. " 栗原遺跡 |



天矢場式土器分布図※①



獲物が落ちる様子※②



市ノ塚遺跡 5区 SZ-1



古墳時代の竪穴住居跡復元図※③



参考 古墳時代の竪穴住居跡※④



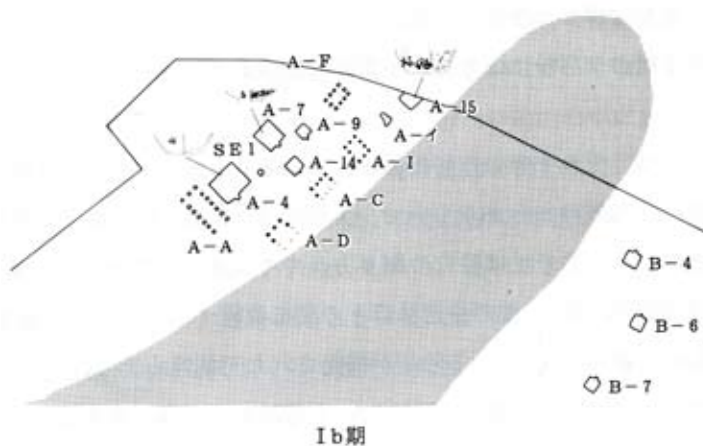
市ノ塚遺跡遺構集中区 (24 年度調査区)



市貝町寺平遺跡※⑥



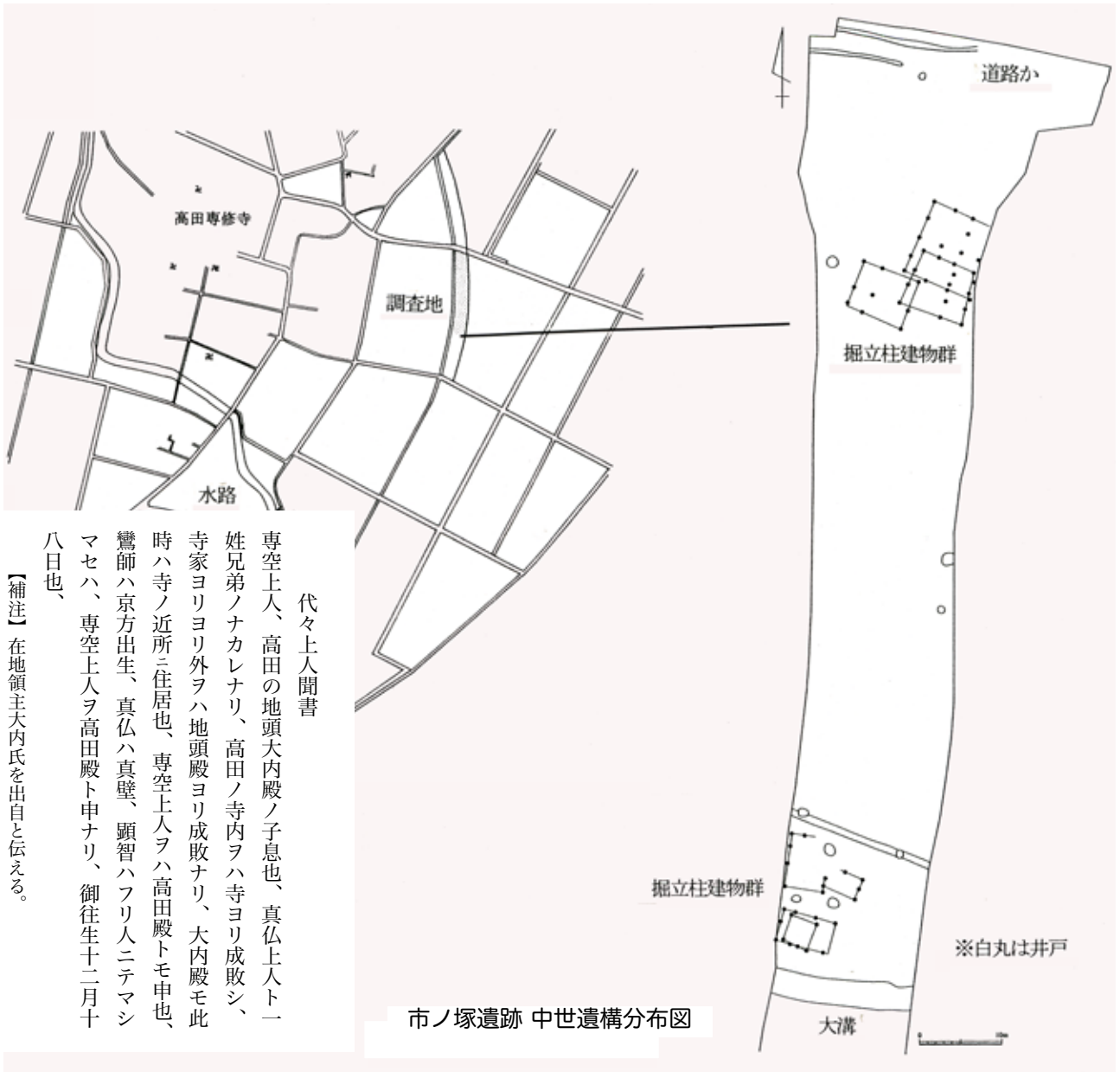
市貝町北ノ内遺跡※⑦



益子町星ノ宮ケカチ遺跡※⑤

出典

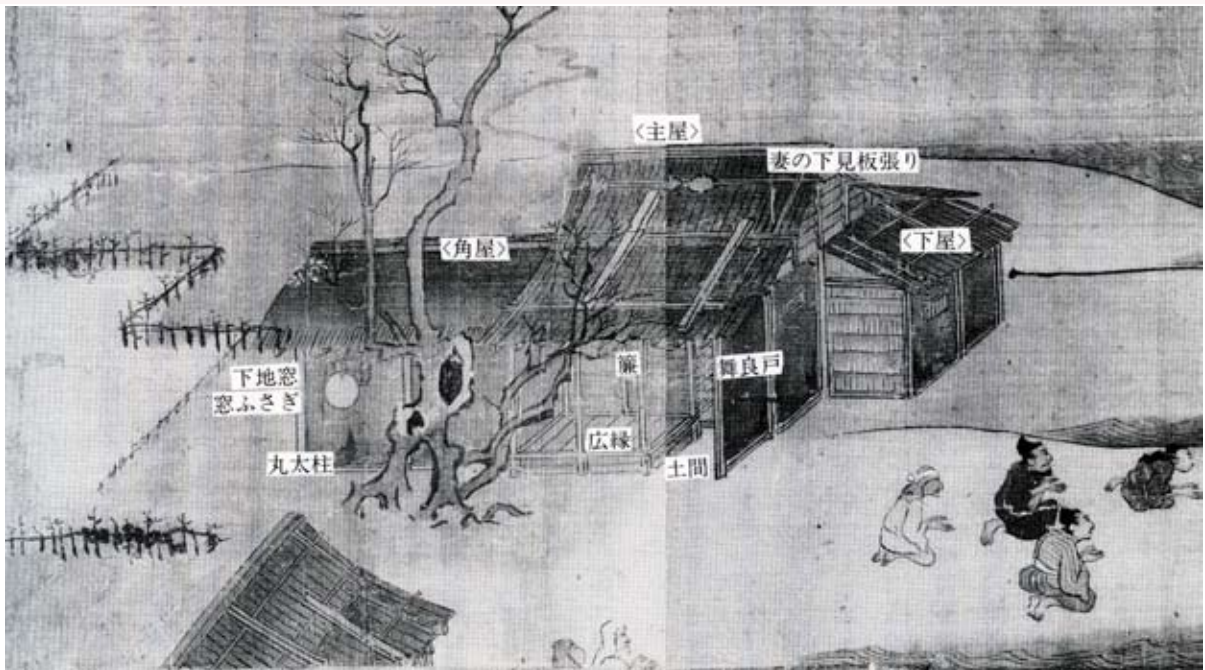
- ※①中村信博・中村紀男 2002 『天矢場遺跡第2次発掘調査報告書』
- ②(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター 2009 『ふるさととちぎの考古学②縄文時代』
- ③・④(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター 2009 『ふるさととちぎの考古学遺跡からみる栃木の歴史』
- ⑤仲山英樹 1988 「星ノ宮ケカチ遺跡の検討」 『栃木県考古学会誌』 第10集
- ⑥『栃木県埋蔵文化財保護行政年報28』 栃木県教育委員会
- ⑦『埋蔵文化財センター年報 第21号(平成23年度)』 (財)とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター
- ⑧小泉和子ほか編 1996 『絵巻物の建築を読む』 東京大学出版会



代々上人聞書

専空上人、高田の地頭大内殿ノ子息也、真仏上人ト一
 姓兄弟ノナカレナリ、高田ノ寺内ヲハ寺ヨリ成敗シ、
 寺家ヨリヨリ外ヲハ地頭殿ヨリ成敗ナリ、大内殿モ此
 時ハ寺ノ近所ニ住居也、専空上人ヲハ高田殿トモ申也、
 鸞師ハ京方出生、真仏ハ真壁、頭智ハフリ人ニテマシ
 マセハ、専空上人ヲ高田殿ト申ナリ、御往生十二月十
 八日也、

【補注】在地領主大内氏を出自と伝える。



中世の建物 (『一遍上人絵伝』巻8) ※⑧